

21世紀のまちづくり情報誌

広報 にのみや

「春・好日」
第9回観光フォトコンテストから
富士見が丘在住 玉置正さんの作品

●今月の紙面

16年度予算特集……………②～⑤
地区長連絡協議会の活動……………⑥～⑦
町役場の組織が変わりました……………⑧
こんにちは 健康課です……………⑪

じょうほう館……………⑫～⑬
みんなの広場、まちの話題……………⑭・⑮
観光フォトコンテスト入賞作品……………⑯
など

ホームページアドレス [http:// www.town.ninomiya.kanagawa.jp](http://www.town.ninomiya.kanagawa.jp)

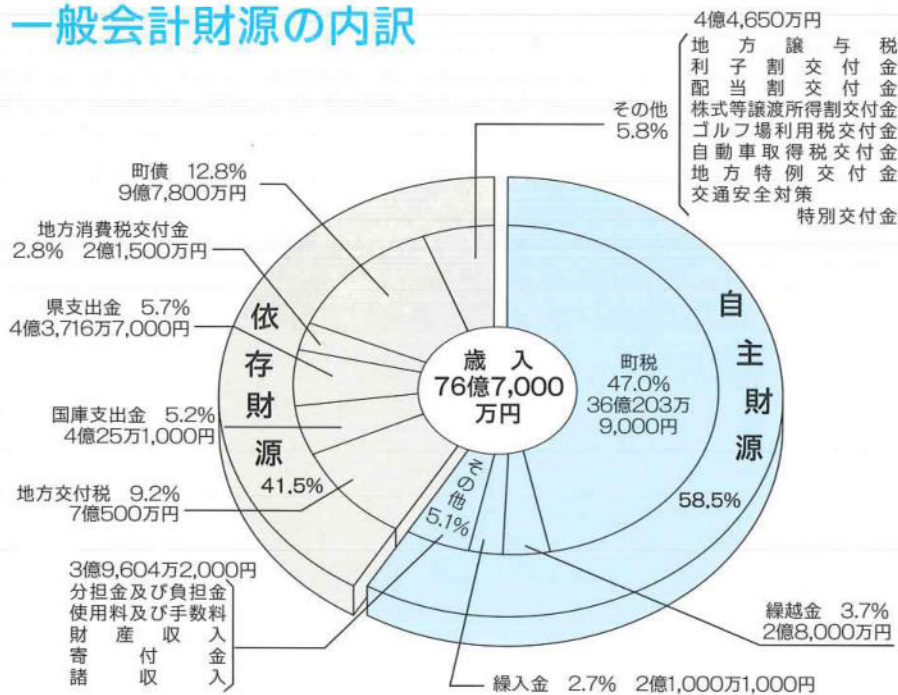
4

2004

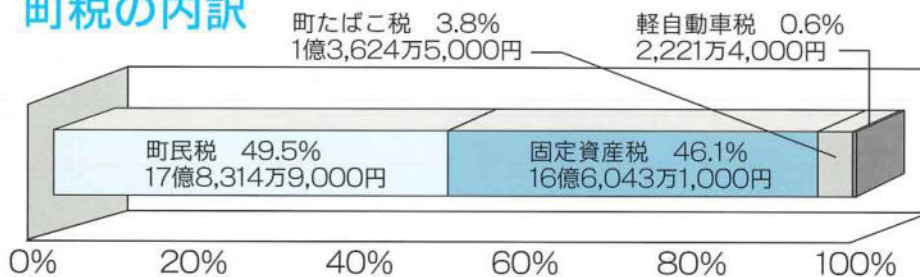
16年度予算

勇気をもって 積極的な事業展開を！

一般会計財源の内訳



町税の内訳



三月五日から二十六日にかけて開催された町議会定例会で、平成十六年度当初予算が可決されました。今年度は、安全・安心な社会への対応、環境との共生、協働のまちづくりといった今後の政策課題への対応を見据えた予算編成とし、積極的に各事業への取り組みを推進することとしました。ここでは、十六年度予算の概要と重点施策をお知らせします。

平成16年度 各会計当初予算の集計

		平成16年度		平成15年度		比 較	
		当初予算額(a)	構成比	当初予算額(b)	構成比	(a)－(b)	伸び率
一 般 会 計		76億7,000万円	49.3%	73億5,000万円	48.8%	3億2,000万円	4.4%
特 別 会 計		78億8,523万1,000円	50.7%	77億2,214万7,000円	51.2%	1億6,308万4,000円	2.1%
内 訳	国民健康保険	22億5,700万円	14.5%	23億8,359万2,000円	15.8%	△1億2,659万2,000円	△5.3%
	老人保健医療	23億5,783万9,000円	15.2%	23億9,742万6,000円	15.9%	△3,958万7,000円	△1.7%
	介護保険	14億4,619万1,000円	9.3%	13億2,825万5,000円	8.8%	1億1,793万6,000円	8.9%
	下水道事業	18億2,420万1,000円	11.7%	16億1,287万4,000円	10.7%	2億1,132万7,000円	13.1%
合 計		155億5,523万1,000円	100.0%	150億7,214万7,000円	100.0%	4億8,308万4,000円	3.2%

16年度 予算特集

予算総額155億5,523万1,000円

一人当たりいくら使われるの？

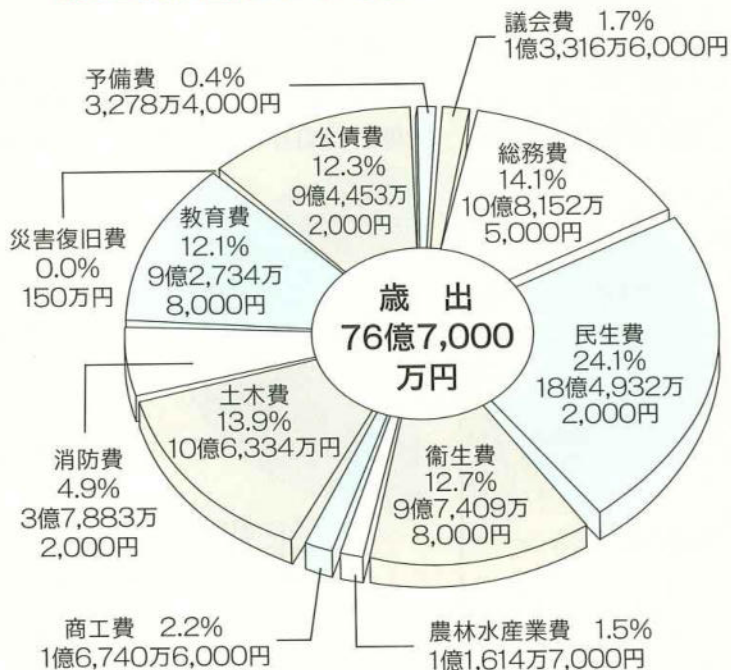
一般会計で試算すると、

一人当たり約25万1,195円となります。

歳出の区分	一人当たりの額
議会費	4,361円
総務費	35,420円
民生費	60,566円
衛生費	31,902円
農林水産業費	3,804円
商工費	5,482円
土木費	34,825円
消防費	12,407円
教育費	30,371円
災害復旧費	49円
公債費	30,934円
予備費	1,074円
合 計	251,195円

一般会計の予算76億7,000万円に対し、3月1日現在の人口(30,534人)で計算しました。

一般会計歳出の内訳



一般会計

町が各種事務事業を進める際に基本となる一般会計予算には、昨年度の4・4割増となる76億7,000万円を計上しました。この中には、平成7・8年度に借入れた住民税減税補てん債の「借換え」分3億5,000万円が含まれており、これを除くと昨年度の0・4割減となります。

歳入

歳入の中で最も大きな割合を占める町税は、前年度の3割減となる36億2,033万9,000円で、歳入全体の47割になります。主力となる個人町民税が大幅に減額となり、最近では最も厳しい状況になっています。

国が進める三位一体改革の影響として、保育所運営児童費負担金などの国庫補助負担金が一一般財源化され、予算全体で4,000万円以上の減となる一方で、暫定措置として創設された所得譲与税は、5,100万円を計上しました。さらに交付税改革として「総額抑制」が実施された結果、

歳出

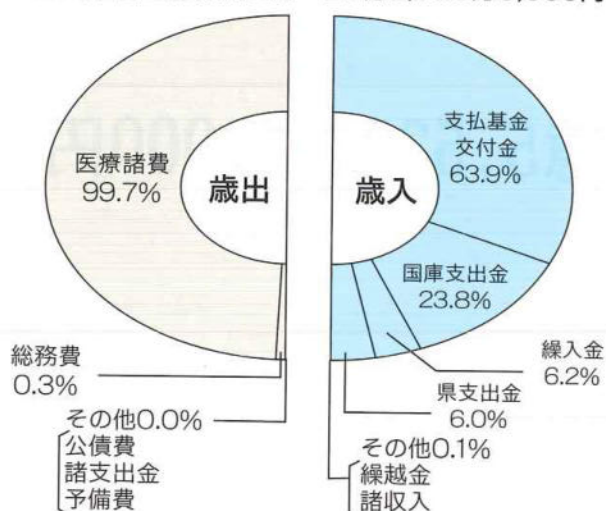
厳しい財政状況の中、今後のまちづくりにおける政策課題への対応を見据えた予算編成としました。

主な事業を歳出区分別にみると、総務費では防災行政無線(同報系)デジタル化工事、戸籍電算化事業、民生費では旧国立小児病院跡地の買取り、児童手当支給事業の対象年齢延長(小学校第三学年終了まで)、衛生費では焼却灰の外部搬出、農林水産業費では土地改良事業、商工費では商業者経営安定化緊急支援貸付事業、土木費では駅南口広場電線共同溝工事、教育費では二宮小学校西棟耐震補強工事設計、二宮西中学校耐震診断などがあり、各事業への取組みを積極的に推進します。

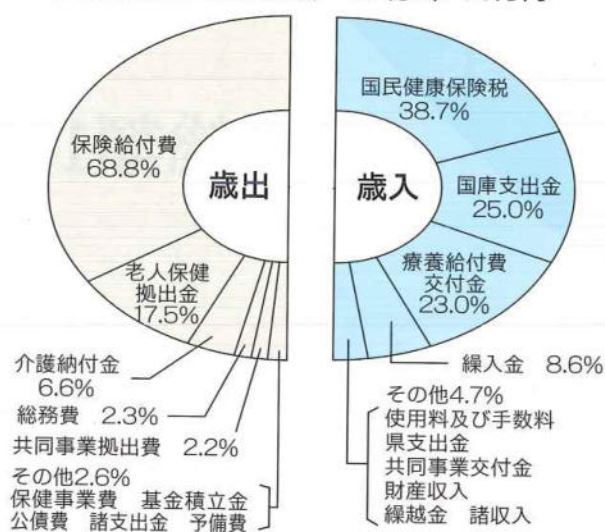
地方交付税が大幅に減額し、9,500万円の減として計上しました。

町債は、先にも述べた住民税減税補てん債の「借換え」の他に、住民税減税補てん債と臨時財政対策債の借入れを予定しており、大幅な増額となる9億7,800万円を計上しました。

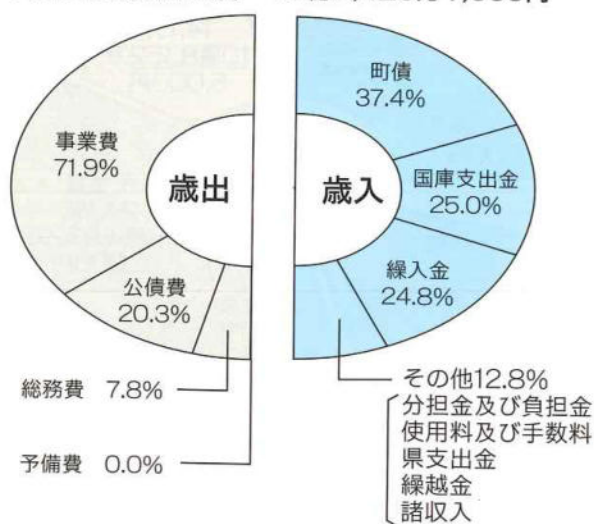
老人保健医療特別会計 23億5,783万9,000円



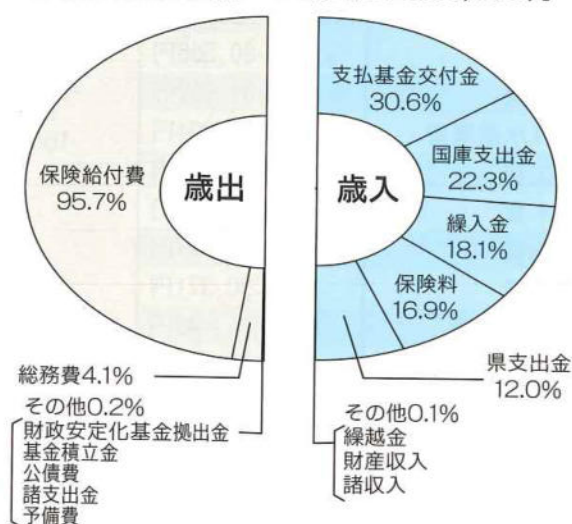
国民健康保険特別会計 22億5,700万円



下水道事業特別会計 18億2,420万1,000円



介護保険特別会計 14億4,619万1,000円



特別会計

特別会計は、特定の事業を実施するために、一般会計とは切り離して管理しています。

町には、「国民健康保険」、「老人保健医療」、「介護保険」、「下水道事業」の四つの特別会計があり、安心して快適な暮らしを支える事業を実施しています。

国民健康保険特別会計

前期高齢者が七十歳から毎年一歳ずつ七十五歳に達するまで延長され、平成十六年度では七十二歳までの方が国民健康保険にとどまることになったため、老人保健医療費拠出金も減額になり、現状では、前期高齢者分を含めても療養給付費の大きな伸びは見込まれません。これに加え、これまでに積立てた基金の活用を図ることなどで今年度より国民健康保険税を軽減し、予算額はマイナス5・3割の22億5700万円となりました。

老人保健医療特別会計

高齢者の方の医療費負担を

軽減するために設置している特別会計で、今年度は歳出の約99・7割が医療費給付にあてられる予定です。

介護保険特別会計

社会全体で介護の必要な方を支える介護保険制度がスタートしてから五年目を迎え、要介護・要支援と認定される方やサービスの利用が着実に増加した結果、予算額は8・9割増の14億4619万1000円になりました。

昨年度は三年に一度の事業計画の見直しがあり、第一号被保険者の保険料が改定されました。今年度も引き続きその計画に沿って事業を展開していきます。

下水道事業特別会計

衛生的で快適な暮らしを実現する下水道は、JR東海道線から南側の整備がほぼ完了し、昨年度から整備事業の中心は北側へと広がっています。今年度は、引き続き一色川勾配汚水幹線工事を進め、幹線整備を百合が丘方面へさらに延伸する予定です。

16年度
予算特集

重点施策

総合長期プランの潮流を受けて

重点プラン1

わたしが主役の協働
まちづくりプラン

総合計画策定推進事業

…町独自の行政評価システムの確立と運用の試行。

地域推進課に

協働まちづくり推進係を新設

…地区長連絡協議会事務、(仮称)町民参加活動推進条例の制定・推進、町づくり協議会設置に向けた調査研究など。

重点プラン2

暮らしの安全・
安心プラン

防災行政無線(同報系)の
デジタル化工事



災害時の情報提供の
充実を図ります

…多様な情報提供が可能となる同報無線システムを導入(二か年継続事業)。

また、本部と防災重要拠点との情報交換ができ、安全・安心まちづくりを推進。

子育て支援策

…次世代育成支援行動計画策定事業、旧国立小児病院跡地の買取りと子育て支援施設の整備検討。

障害者生活支援事業

…町役場庁舎内に相談窓口を新設。

重点プラン3

人と環境の
さわやか健康プラン

松食い虫被害対策自主事業

…被害木の伐倒、危険松緊急伐倒。

じん芥焼却場維持整備

…耐火物補修工事、バグフィルターろ布交換工事。

ごみ減量化・資源化対策



生ごみの減量化に
ご協力ください

…生ごみ処理容器購入補助金の継続(補助台数の増)、ごみ焼却にかかる燃料費の削減。

健康づくりの推進

…健美塾、生活習慣改善予防健康プログラム事業(ヘルストレーニング事業)。

重点プラン4

駅前・
IT活性化プラン

駅前広場整備

…北口駅前広場再構築に伴う概略設計委託、県と共同で南口電線共同溝工事。

行政サービス等電子化

…戸籍事務の電算化(二か年継続事業)。

ITふれあい館振興事業



ITを利用した地域コミュニティの
発展を目指します

…障害者・高齢者IT講習会、地域IT活用型モデル事業(eまちづくり推進事業)の推進。

重点プラン5

町民みんなの
個性輝きプラン

学校施設整備

…二宮小学校西棟耐震補強工事設計委託、二宮西中学校校舎・体育館耐震診断、小学校普通教室換気扇設置・緊急プザー増設工事、中学校教育用コンピュータ更新。

学校教育の充実

…学校教育指導補助員派遣事業(教科・生活指導補助員の増員)。

都市基盤の整備

いきいきと暮らせる
まちづくり

道路改良・補修事業

…町道114号線(百合が丘)排水管改修工事、町道61号線(富士見が丘三丁目)舗装補修工事、町道32号線(貝ヶ窪)拡幅改良工事、町道66号線(中里)拡幅改良工事、町道27号線(内原)拡幅改良工事など。

公共下水道事業

…一色川勾污水幹線工事(その七)、一色川勾污水幹線工事(その八)、汚水枝線工事など。



2か月に1度開催される連絡会の様子

地域と町行政とが互いの特性を生かし、対等の立場で町づくりを進めていく『協働のまちづくり』。その一翼を担う地区長連絡協議会が発足して三年目を迎えました。ここでは、現在までの協議会の活動と、自主的に取り組んでいる研究会活動の成果をご紹介します。

地区長連絡協議会の活動

新しい地域づくりの礎に

地区長の職務

町内二十地区、二十二名の地区長は、地区の統括はもちろん、町から支出される地域活動支援交付金の適正処理、地区要望の取りまとめ、集会

施設の管理など、地区の代表者として活躍されています。

連絡協議会と自主活動

地区長連絡協議会は、地区運営の意見交換と連絡調整の場として組織されました。二か月に一度、全員が参加する「連絡会」を開催し、さらに五名の役員は毎月「役員会」を開いて議論しています。

協議会は各地区の運営に役立てようと、さまざまな自主活動に取り組んでいます。

昨年は町からの委託を受けて長野県高山村との地域間交流事業を実施し、子ども会との連携や地区住民との対話など、貴重な体験をしました。この事業は今後も引き続き実施していく予定です。

研究会活動

設立当初から取り組んでいる研究会活動では、一つのテーマを深く掘り下げることで、今まで気付かなかった地区の問題や新しい課題を見つめる契機となりました。その課題を住民の手でどのように解決していけばよいのか、真剣な議論が繰り広げられました。

ここからは各研究会の二年間に渡る活動の成果をご紹介します。住みよい地域づくりの主役である皆さんはどのようにお考えですか？

地域課題研究会

私たちの研究会では、地区が抱える身近な問題や運営上の課題の解決に向けて毎月例会を開催し、討議を重ねてきました。

地区の抱える課題等を集約

十五年度は、前年度から議論している課題のうち「地区長・組長など役職者の負担軽減」をまず取り上げました。課題を整理していく中で、特に問題と考えられたのは次の二点です。

- ①留守宅が多く、組長の集金(社協会費、神社関連、共同募金等)が大変である。
- ②地区行事は歴史や慣習を踏まえながら、理解を得られる方向で見直すことも必要。

メンバーは互いの知識や経験を交えながら、客観性を持たせるよう注意を払って議論を深めていきました。より具体的な解決方法を模索した結果、次のような提案・現状認識をまとめました。

社協の会費徴収・会員募集…

◎ 社協役員で実施できないだろうか

神社関係・共同募金の集金…

◎ 現在のところ、地区組織以外が自主的に実施できる環境には至っていない。

地区行事…

◎ 行事の方向性、役割分担等基本的な考え方を今一度考える。

◎ 各団体役職者間の共通理解を深める

◎ 各団体との連携意識を高めて透明性を発揮する。

自主防災活動の具体的取り組み

役職者の負担軽減と並んで重要なテーマになったのは地域の自主防災活動です。研究会では次の項目を今後も検討していかなければならない課題ととらえています。地区の皆さんにもぜひ議論していただきたい内容です。

◎ 防災マップの作成

◎ 救出活動に備え一人暮らしのお年寄りや災害弱者をはじめとする地区在住者の家族構成の把握

◎ 防災備品庫の適正配置
◎ 担架等も活用した体験訓練

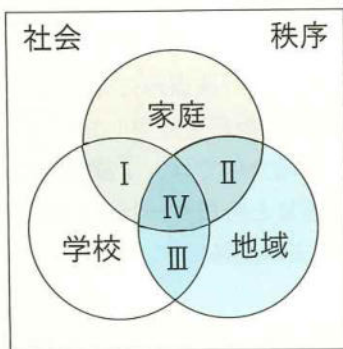
教育研究会

研究会では、地域・子ども育成会（以下子ども会）・学校の現状と問題点を整理しながら、地域と「子ども教育」とのかかわりを検討しました。

家庭・学校・地域の連携と子ども会の社会的位置

左図でⅠの位置にPTA、Ⅱに町内会や自治会といった地域の自治組織があります。相互の連携をとるため、ⅢにもⅠ・Ⅱのような組織が必要ではないでしょうか。

「子ども会」は三つの輪が重なったⅣの位置にあり、家庭・学校・地域が三位一体で支えなければならぬことを意味しています。特に自治組織の支援は非常に重要です。また、中学生にもこのような



組織が必要と思われる。将来への展望と課題

少子化や国際化が進む社会で一人として尊重されるには、他人とのコミュニケーションが大切です。地域の子どもの教育は、社会的な面も重視する必要があります。

行事のアイデア

子どもたちの渇いた心に一滴の水を注ぐような地域行事を考えてみました。

①土曜日課外授業：NHKの『ようこそ先輩』の二宮版。

②大人からのメッセージ：いろいろな分野の方との交流。

③物作り：子どもたちのやりたいことを行事化。

④寺子屋：気楽に集える場所づくり。

⑤野外観察・体験・実験「発掘」：発見に目覚めるきっかけづくり。

⑥どんど焼き・七夕・盆踊り・道路清掃：地域との交流。

◆これからの子ども教育は、家庭と子ども会・学校・地域が三位一体でかかわることが大切です。保護者はしつけ・教育の基本が家庭にあることを再認識し、学校の先生は進んで地域に出て子どもたちの

実態を把握してください。三者の連携が、社会問題となっている凶悪犯罪の低年齢化なども防止すると思います。

合併研究会

当研究会では、住民サイドからの市町村合併を考えてきました。昨年五月で湘南市研究会は解散しましたが、合併議論そのものを中止することは、『次代を担う子どもたちや地域に対する責任回避ではなかるうか』との考えから研究を続けることにしました。

各地区長の賛同を得ながら、町の「市町村合併を考える研究会」と共同で開催した地域

懇談会・意見交換会は三次、二十二会場に上ります。

①市町村合併と二宮町の現状理解の徹底：十五年二月

三会場（各小学校区）

②湘南市研究会の成果報告と説明：十五年六月

三会場（各小学校区）

③市町村合併とまちづくり出前講座：十五年十月～十六

年一月

十六会場（全二十地区）

★合併問題への関心（回答率87・2割）

ある：84・5割
どちらでもない：10・6割
ない：4・9割

★研究を進めていく必要性

ある：75・6割
どちらでもない：22・6割
ない：1・5割

★会場の意見から：国や県から多くの権限が委譲され、その効果も大きい政令市を目指した合併研究が必要と思う。小中学生の学力低下が一番気になるので、特に教育改革に期待したい。

（富士見が丘防災コミュニケーションセンターでの講座に参加された方から）

今後のまちづくりの選択肢の一つとして、皆さんも合併問題を考えてください。

環境研究会

環境研究会では、身近な環境問題の中から、生ごみの減量化を研究してきました。

14年度はEM(有用微生物群)を利用した生ごみ処理を体験しながら、家庭でできる減量化を考えました。15年度はモデル地区での運用を模索している町からの提案を受け、大型生ごみ処理機を研究課題に加えました。

大型生ごみ処理機の研究

大型処理機は地区内の家庭の生ごみを効率よく処理することができます。すでに実施している相模原市を視察し、町職員と合同で二宮への導入を想定して問題点を検討しました。機器の管理などの課題もあり、今回は導入までには至りませんでしたが、研究を通して「地区で取り組むごみ問題」を考えるきっかけとなりました。

町と地区への提案

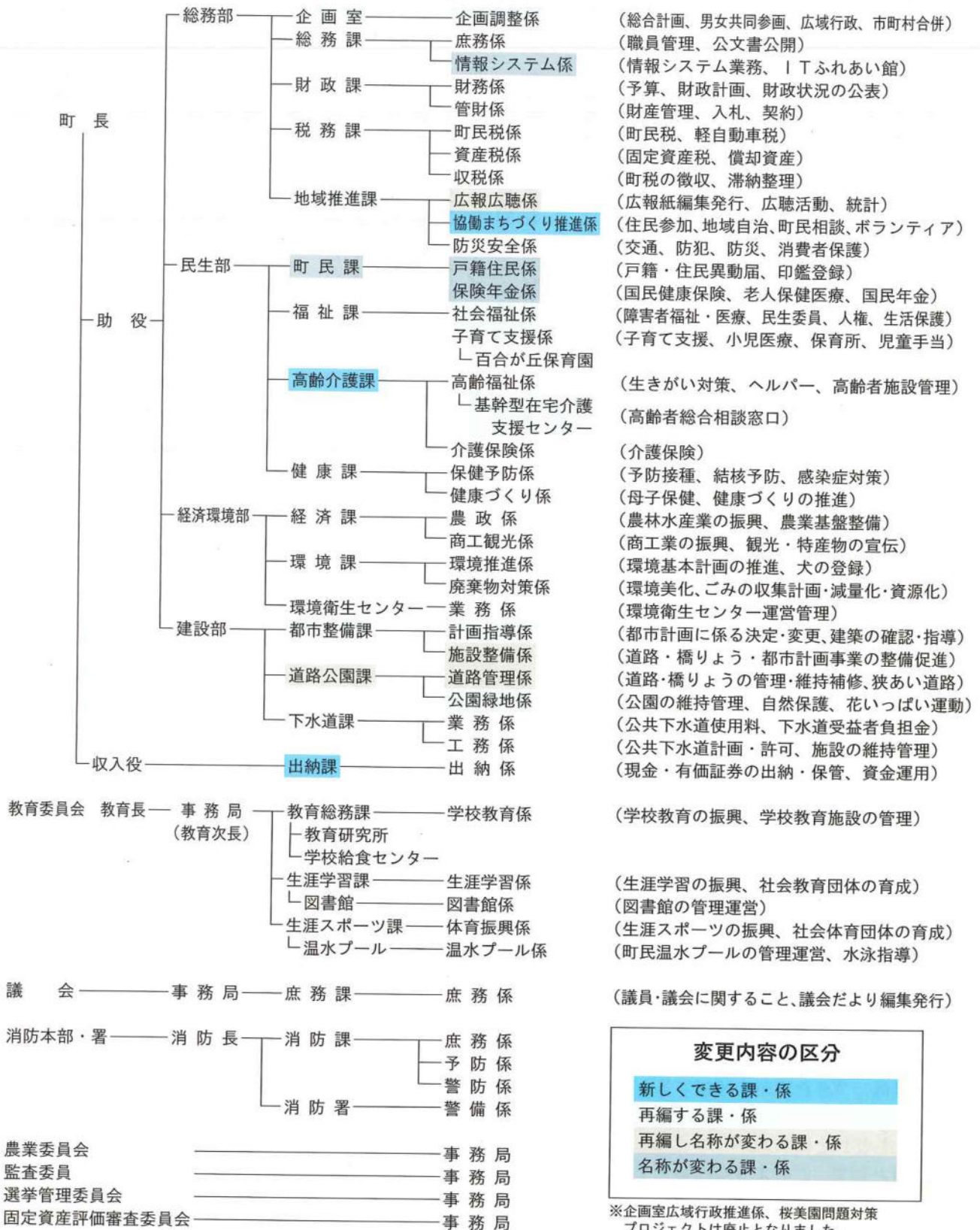
- ①ごみを出す前に、各家庭で中身をもう一度確認
- ②家庭用生ごみ処理機の紹介と利用の促進
- ③処理機でできた肥料を回収するシステムの確立を

私たち住民と町行政が今すぐに取り組める対策として、このような提案をまとめました。町からも、ぜひ積極的に広報してほしいと思います。

町役場の組織が変わりました 行政サービスの 向上を目指して

『にのみや総合長期プラン』の円滑・効率的な推進と少子高齢化や協働のまちづくりなどの新たな行政課題に対する体制を整えるため、4月1日から町役場の組織を変更しました。

新しい組織は図のとおりです。組織全体では、1課増、2係減となり、簡素で効率的な行政運営と町民サービスの向上を目指します。 ※()内は各係の主な業務です。



町職員人事異動

四月一日付
()内は旧所属

【部長級】

▽経済環境部長(企画室長)
佐川眞一 ▽民生部参事(経済環境部長) 青木健

【課長級】

▽企画室長(都市整備課長)
長尾秀美 ▽総務課長(議会事務局庶務課庶務係長) 安藤宏孝 ▽高齢介護課長(福祉課介護係係長) 西山淳一 ▽環境課長(環境衛生センター所長) 茅沼義文 ▽環境衛生センター所長(税務課長補佐兼資産税係長) 箱守義明 ▽道路公園課長(桜美國問題対

策プロジェクト課長) 添田充正 ▽都市整備課長(建設課

長) 野谷和雄 ▽出納課長(総務課長) 須藤政雄 ▽選挙管理委員会書記長(環境課長) 田中勝

【課長補佐級】

▽福祉課長補佐兼子育て支援係長(農業委員会事務局課長補佐) 相馬靖昭 ▽環境衛生センター所長補佐兼業務係長(環境課長補佐兼環境推進係長) 齋藤寛 ▽教育委員会教育総務課副主幹 久保田秀実

【係長級】

▽企画室企画調整係長(総務課電子計算係長) 橋本幸治 ▽総務課情報システム係長(福祉課児童福祉係長) 松本幸生 ▽税務課町民税係長(建設課工務係長) 木村正美 ▽税務課資産税係長(環境衛生センター業務係長) 石井隆 ▽地域推進課協働まちづくり推進係長(企画室広域行政推進係長) 二見敏夫 ▽福祉課社会福祉係長(同課同係主任主事) 黒石俊彦 ▽高齢介護課高齢

福祉係長(福祉課高齢福祉係長) 坂本眞砂子 ▽高齢介護課介護保険係長(福祉課介護保険係主査) 中館恵利子 ▽環境課環境推進係長(同課廃棄物対策係長) 高橋秀實 ▽環境課廃棄物対策係長(桜美園問題対策プロジェクト係長) 筑紫裕門 ▽道路公園課公園緑地係長(都市整備課公園緑地係長) 渡辺幹雄 ▽議会事務局庶務課庶務係長(監査委員事務局書記) 大野勝人 ▽農業委員会事務局係長(住民課戸籍係主査) 鈴木和男

【新採用】

地域推進課 鳥海聡一
町民課 藤原光子
福祉課 山口俊治
福祉課 鈴木晶子
高齢介護課 阿山茂樹
環境課 岡部裕之
道路公園課 今野慶香
生涯学習課 大谷徹

【退職】 三月三十一日付

▽寺山茂
(選挙管理委員会書記長)
▽後藤但克
(教育委員会教育総務課副主幹)
▽浜田敬子
(福祉課社会福祉係長)

中心市街地 活性化の取り組み

walk walk ing のみや

わがまち新発見

三月四日から七日にかけて中心市街地活性化研究会は町商店連合協同組合と、「walk walk ing」のみやわがまち新発見」を開催しました。

『walk walk ingのみやMAP』の創刊記念と、将来、空き店舗等を利用したチャレンジショップを考えている方の発掘を目的にしたこのイベントに期間中訪れた方は、なんと約1200人! 当日まで熱



“昔のこども未来のおとな”がふれあう「わくわく小屋」から、お手玉づくり

心に協力していただいたボランティアの方の努力もあり、初めての試みは大成功でした。期間中毎日実施された「わくわく玉手箱」では、マップで紹介したお店やこれから創業を目指す方の商品の試食・展示品に、来場した方から販売を強く求める声があがるほどの大盛況! 次回はより多くの方が参加できるように、参加者募集期間を長く設けたいと考えています。

町立中学校の生徒さんが一生懸命作り上げた学習成果の展示場所では、「未来のおとな」の作品に大いに驚く「昔のこども」の姿が目につきました。次回は皆さんも一緒にわくわくするイベントづくりに参加してみませんか? まちのいろいろな情報を一緒に探す「わくわく探検隊」もあわせて募集しています。

申込み・問い合わせ

経済課商工観光係

☎ 71-3311

清潔で快適な環境づくりは 下水道から！

受益者負担金制度に
ご理解とご協力を

下水道事業受益者負担金制度は、利益を受ける方（受益者）に建設費の一部を負担していただく制度です。

今年度、新たに対象となる区域内の土地所有者の方には、五月上旬に「下水道事業受益

者申告書」を送付します。

負担金は、土地の面積一平方メートル当たり四百五十円です。分割して納める方法と、報奨金のある一括納付の方法があります。（実際は報奨金相当額を差引いた額を納付していただきます。）

この負担金は一度限りです。ので、ご協力をお願いします。

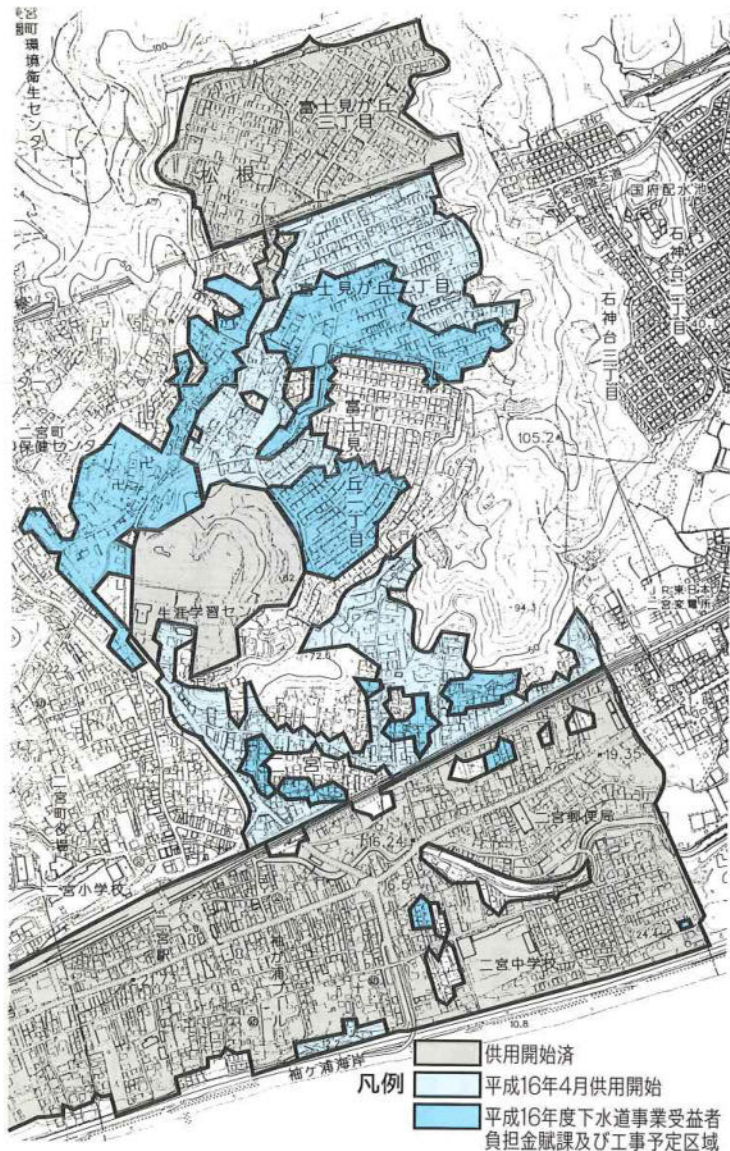
早期接続をお願いします

今月から新たに下水道の利用が可能になった区域（供用開始区域）は図のとおりです。

早期に接続する場合には、水洗化改造奨励金などの助成制度をご利用いただけます。

工事は二宮町下水道排水設備指定工事に依頼してください。（町では、特定の業者はあつせんしていません。）

お問い合わせ 下水道課業務係
☎ 71-3311



シリーズ 合併とまちづくり

若い世代の参加・意見を

前月号では、市町村合併を考える研究会と地区長連絡協議会が開催した「市町村合併出前講座」のアンケート結果の概要をお知らせしました。今回は参加者の意見を紹介します。

出前講座への意見

- ◎町の人口構造や財政状況等を知り「町の将来を考える」よい機会になった。
- ◎多くの人が合併について考え、話し合うことが重要で、今後もこのような機会を。
- ◎将来を担う若い世代（二十代・三十代）の人も参加を。
- ◎若い人の意見が聞きたい。
- ◎合併の枠組みやメリット・デメリットをもっと具体的に示してほしい。

合併を前向きに考える方の意見は

- ◎今すぐにも、町主導で合併を進めてもらいたい。
- ◎将来の町のゆくえを合併という形で前進させてほしい。

- ◎今の町の能力では、時代の変化に対応できるか心配。
- ◎とりあえず合併できる市町から二段構えで始めるべき。
- ◎民間企業も将来を考え合併している時代だから。
- ◎合併問題は時間をかけて議論する必要があるが、町にとって望ましい方策だ。

合併を否定的に考える方の意見は

- ◎湘南市研究会の解散で合併議論は終わった。
- ◎合併して大きな市になるより、今のままでいい。
- ◎全国には、小さくても合併を選ばない町村もある。そこを見習うべき。

◆ ◆ ◆
町では市町村合併を考える研究会とともに、アンケート結果やご意見を研究活動に役立てていきたいと考えています。

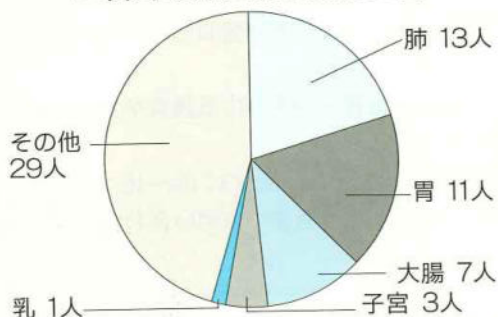
問い合わせ

企画室企画調整係
☎ 71-3311

こんにちは 健康課です 第21回

がん予防

二宮町の部位別がん死亡者



(平成14年のデータ)

健康増進法の施行からまもなく1年。

今年度は“健康長寿のモデルタウンづくり”を考えて
いただく題材として、身近な健康問題をシリーズで掲載
していきます。

死因の第1位 “がん”

がんは、わが国・わが町最大の死亡要因ですが、早期
発見・治療で身を守ることできます。生活の欧米化で、
がんも欧米に多いものが増えると予想されています。

★町の取り組み

緊急課題にあげられている乳・子宮がんの若年化防止
のため、検診の対象年齢を引き下げ、マンモグラフィ（乳
房X線検査）を導入しました。

部位別の傾向と町で実施している検診

胃がん：塩分、刺激物を好む人や喫煙者に多い。

→胃部X線（バリウム）検査

大腸がん：高脂肪食を好む人に多い。食生活の
欧米化で急増中。

→便潜血反応検査（2日間法）

肺がん：喫煙者に多い。副流煙は周囲の人の健
康にも影響が…。

→胸部X線撮影、^{かくたん}喀痰検査

乳がん：40～50歳代に多く、未婚・未産・高齢
初産の人がかかりやすい。

→視触診、マンモグラフィ（視触診併用）

子宮がん：30歳以上に多い“頸がん”と50歳以
上に多い“体がん”がある。

→頸がん細胞診（集団検診）、

頸がん＋体がん細胞診（施設検診）

がん検診の対象

胃・大腸・肺がん → 40歳以上

マンモグラフィ → 40歳以上の女性

乳・子宮がん → 25歳以上の女性

◎各検診は、年度内（4～3月）に1回だけ受
診できます。

◎実施日時・申し込みは、その都度広報で
お知らせしています。

★予防対策

緑黄色野菜類……カロテンやビタミンC、E、
食物繊維などが豊富で、よく食べる人のほう
が多くの部位でがんのリスクの低いことが明
らかになっています。

動物性脂肪……牛・豚肉の脂身、バターなどに
多く含まれ、乳がんのほかに動脈硬化や高血
圧の危険因子でもあります。逆に魚の脂に多
いDHAやEPAには予防効果があるので積

極的にとりましょう。

食塩……とりすぎは、胃がんはもちろん高血圧
や脳卒中の危険因子にもなります。

禁煙……自分でできる最大の予防手段。

お酒……口腔・咽頭・食道・肝臓・乳がんにな
る可能性が高くなります。

◎がんの危険性は生活習慣の改善で減らせます
が、効果がでるまでには長い時間が必要です。
検査結果で異常がなくても、自分の生活習慣
をもう一度見直してみましょう。

気になること

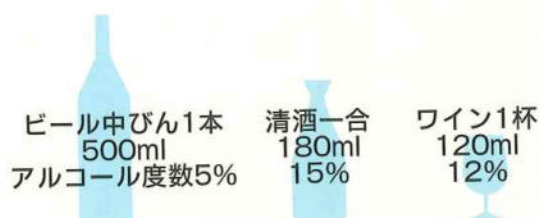
X線検査の放射線量

通常の検査で使う放射線のエネルギーは非常
に低く、年に1度の検診程度であれば全く問題
ありません。心配して検査を受けないよりも、
受けるメリットのほうが大きいでしょう。

適度な飲酒とは？

右図は平均的な成人の例で、男女差・年齢・
飲酒習慣で適量に違いがあります。“休肝日”は

必要ですし、飲酒を推奨するものではありません。



桜の花びらが春風に美しく舞う今日このごろ。
今年のお花見はいかがでしたか？

申込み 郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記したはがき、FAXで。

☎ 関東学院大学生涯学習センター
〒236-8501 横浜市金沢区六浦東
1-50-1 ☎045-786-7892
☎045-786-7893

◆家庭介護教室

基礎編…5月17日(月)、19日(水)、
21日(金)

土曜編…5月29日(土)

13:00~16:15

湘南老人ホーム

お年寄りを介護している方、介護に関心のある方ならどなたでも。

参加費 無料

☎ 神奈川県社会福祉事業団

湘南老人ホーム ☎76-7580

◆鳥インフルエンザに関するお願い

鳥インフルエンザの被害がニトリから野鳥にまで広がっています。多数の野鳥が死んでいるのを見つけた場合は、触らずに連絡してください。

連絡先 平塚保健福祉事務所
☎32-0130

障害者生活支援相談窓口を開設

障害をお持ちの方への生活支援に関する相談窓口を町役場福祉課内に開設しました。お気軽にご相談ください。

相談内容 専門相談員が、電話・面接・訪問等で支援費や日常生活に関する相談に応じます。

開設日時 毎週月・木曜日の10:00~12:00と13:00~15:00(町役場の閉庁日を除く) ※事前に電話等でお問い合わせください。

☎ 福祉課社会福祉係

新しい施設等が完成！



★中里防災コミュニティーセンター
段差の少ないフロアや持ち運びしやすい軽い備品など、「人へのやさしさ」にこだわりました。

100インチ大型プロジェクターを使ったカラオケや映画鑑賞など、幅広く活用できる施設です。

★新原田橋の歩道橋“わんぱく橋”

この橋は多くの子どもたちが通学路にしているの、元気にたくましく育ってほしいという願いを込めて名付けました。

駅北口から原田方面への歩行者の皆さんの安全性が向上します。



認定者数は大幅に増加
介護保険のサービスを受けるには、町役場に申請して、要介護認定の審査を受ける必要があります。
審査で要支援、要介護と認定された方は、制度が始まった平成十二年の十月から十五年十月までの三年間で70%増加しています。

介護新時代④

急増する認定者数
と介護費用

この間の高齢者数(六十五歳以上の方)の伸び率は約13%でしたので、認定者数の伸びが大幅に上回っていることがわかります。高齢者のうち十一人に一人だった認定者は、三年間で七人に一人の割合へと増加しています。

利用が進む介護サービス

認定者数の増加に伴って、サービスの利用も進んでいます。サービスの対価として町が支払う金額は、同じ三年間で40%強増えています。

サービスの中でも、訪問介護(ヘルパー)や通所介護(デイサービス)など、自宅で過ごすしながら利用する居宅サービスの伸びが特に大きく、三年間で約二倍に急増しています。

問い合わせ

高齢介護課介護保険係
☎71-3311

じょうほう館

問…問い合わせ
町役場の電話番号71-3311

花とみどりのつどい ～二宮ガーデニング大会～ 出場者募集！ 5月23日(日)9:00～15:00 二宮果樹公園



●ガーデニングコンテスト……部材等は一部用意しますが、ご自分で用意したものを組み合わせることも可能です。制作日は5月15日(土)です。

①ハンギングコース [10組] (体験コース)

壁掛けタイプのバスケットを3個作成

②ファミリーコース [5組]

1m×2mの花壇を自由にアレンジ

③創作コース [2組]

2m×3mの花壇を自由にアレンジ

●写生会……申込み時にお渡しする六つ切り画用紙に果樹公園周辺の風景を描いてください。着色方法は自由です。

提出期限 5月21日(金)

●フリーマーケット [5組程度]

1区画2m×2mです。

応募期限 5月7日(金)

申込み 各部門とも応募用紙に必要事項を記入して道路公園課へ。郵送も可能です。

応募用紙 役場、ITふれあい館、町立体育館、公民館、町民サービスプラザ、果樹公園にあります。

◎コンテストは大会当日の午前中に来場した皆さんが審査員です。投票いただいた方に、15時ごろから花の苗をプレゼントします。当日は模擬店の出店も予定しています。ぜひご来場ください！

問 道路公園課公園緑地係

◆町役場窓口の一部移転

◎在宅介護支援センター【つばき】

町役場1階介護福祉課へ移転しました。高齢者の保健と福祉・医療のことは、お気軽にご相談ください。

開所日 月～金 8:30～17:00
(閉庁日を除く)

問 ☎71-7085 ㊟71-8188

※時間外の緊急相談は、湘南二宮在宅介護支援センター【さくら】へ。

☎70-3028 ㊟70-3021

◎経済環境部経済課

社会福祉センター2階へ移転しました。

問 ☎71-3311

◆こころの健康相談

4月22日(木)、
5月6日(木)、12日(水)、18日(火)
13:30～15:45(事前予約制)

平塚保健福祉事務所

対象 こころの悩みや病気でお困りの方とその家族(ひきこもり、アルコール等の相談も含みます)

内容 精神科医師の相談や家庭訪問

問 平塚保健福祉事務所保健予防課

☎32-0130

◆ごみ処理広域化の 実現可能性調査中間報告

町では、15年度と16年度の2か年をかけて、ごみの広域処理実現の可能性を調査しています。その中間報

告書を、4月15日(木)から町ホームページと町政資料の閲覧コーナーで公表します。

問 環境課廃棄物対策係

◆湘南ビーチマラソン大会 エントリー締め切り迫る！

申込期限 4月26日(月)[消印有効]

申込方法 町内の公共施設にある申込書に必要事項を記入し、最寄りの郵便局から振り込んでください。

大会開催日 6月6日(日)

メイン会場 梅沢海岸

問 ◎エントリー事務局

☎61-7209 ㊟61-7210

◎生涯スポーツ課体育振興係

◆“グローバリゼーションと 変容する現代資本主義社会”

～かながわの大学共同公開講座～
5月15日～7月3日まで毎週土曜
(全8回) 13:30～15:30

関東学院大学小田原キャンパス

現代のグローバリゼーションが先進国と発展途上国の政治・経済に与えている影響を考えます。

受講料 8,000円

資源ごみの収集量と売却代金

	2月分		平成15年度累計	
古紙・布類	172,050kg	870,796円	2,142,150kg	10,573,243円
ビン・ガラス類	7,440kg	3,730円	93,060kg	47,160円
金属・空きカン類	837kg	33,480円	10,155kg	406,200円
樹脂類	8,470kg	5,082円	99,030kg	36,711円
金額総計 (売却代金は町の会計に入る)		913,088円		11,063,314円

～花いっぱい運動～ 花と笑顔があふれる街角に



町では、老人会やボランティアの皆さんのご協力で「花いっぱい運動」を推進しています。この運動で、年に3回、町内約60か所の花壇やプランターに季節の花を植えて、皆さんに楽しんでいただいています。

昨年度はこの運動が財団法人自治総合センターの「緑化推進コミュニティ助成事業」に認定され、花の苗の一部が補助されました。(この補助事業は「宝くじ」で助成されているものです。)

みんなの 広 場



最高の笑顔でしめくり!

平塚連盟卒業記念大会 ミニバスケットボール部が優勝!

平塚市見附台体育館と平塚総合体育館を会場に、二月七日と二十八日の二日間で繰り広げられた平塚ミニバスケットボール連盟の卒業記念大会で、二宮ミニバスケットボール部女子が優勝の栄冠を手にしました。

小学校卒業を記念して開かれるこの大会では、六年生の全メンバーが試合に出場するという独自のルールが適用されました。

広報アドバイザー

広報にのみやでは、アドバイザーとして企画・編集をサポートしていただけるアルバイトの方を求めています。(新聞や社内広報を手がけたことのある方。)
連絡先 地域推進課広報広聴係
☎71-3311 ☎73-0134

町政資料の閲覧コーナー

〔行政資料紹介〕

閲覧コーナーで閲覧できる町や県の行政資料の最新版です。

〔町の資料〕

○平成16年度予算書

〔県の資料〕

○県財政のあらまし
○さがみの水
○教育かながわ

ほかにも閲覧できる資料があります。

問い合わせ 総務課庶務係

☎71-3311 (内線318)

緑が丘自治会から要望書



2月27日、緑が丘自治会から町長に「桜美園問題に関する要望書」が提出されました。

この要望は、自治会住民の総意として提出されたもので、内容は下記の3項目です。

1. 二宮町環境衛生センター桜美園・じん芥焼却場の平成19年度末廃止に向けた年度計画の明確化と早期停止の実施を強く要望します。
2. 二宮町環境衛生センター桜美園地区への新しい廃棄物関連設備の導入を行わないことを強く要望します。
3. 二宮町環境衛生センター桜美園一般廃棄物最終処分場は、今後発生する焼却灰およびすでに埋め立て処分した焼却灰について安全に外部に搬出し、早期に使用停止・更地化することを強く要望します。

まちの 話題



こんなにたくさん拾ったよ！

ふれあい広場の石拾い 思いっきり遊べる広場にすぞー！

三月十三日、ふれあい広場周辺地区（元町、富士見が丘、松根）の親子が広場の石拾いをしました。

広い遊び場を熱望する子どもたちにとって、ふれあい広場に県園芸試験時代から残された地面の石は悩みの種でした。町は少しずつ整備していくことにしていますが、「僕たち、私たちの遊び場を自分たちでも整備しよう！」という地区代表者やPTA、こども育成会の呼びかけに二百五十名を超える親子と二宮小、二宮中の先生方が集まり、ともに汗を流すことになりました。

子どもたちは思いっきり遊べる広場になることを願いながら、持参したビニール袋が

善意の寄付に感謝



西湘地域労働者福祉協議会から

二月十三日、町学童保育検討委員会から町長に検討結果報告書が提出されました。家庭はもちろん、町の宝でもある子どもたちの健やかな成長を願って、町ではこの報告書の内容を今後の児童福祉政策に役立てていきます。



熱心な検討を経て
川崎喜八会長から町長へ

学童保育検討委員会から 検討結果報告書

破れてしまうほど熱心に石を拾い、広場は見違えるほどきれいになりました。終了後は役員たちが用意したおしるこに大喜び！疲れも一気に吹き飛んでしまったようです。このような自主活動から生まれる人々の一体感は、地区の活性化や子どもたちの心の成長に大きな影響を与えていくことでしょう。

ようこそわが町二宮博物館 ～二宮小総合学習発表会～



大人も知らなかった町の歴史や風土などを6年生が1年間かけて調べ、その成果を発表しました。（3月10日）

町長感謝状（退団時の役職）
二見泰弘さん（消防団長）
村山 光さん（第一分団長）
高澤達夫さん（第三分団長）
深見幸弘さん（第四分団長）
野谷真之さん（第一分団班長）

三月三十一日、公民館で開かれた消防団入退団式で、十一名の退団者に町長から感謝状が贈られ、十三名が新団員に任命されました。新消防団長には副団長だった柳川駅司さんが任命され、引き続き活躍されます。新入団員と新組織は、五月号で紹介します。

消防団員入退団式

脇 修治さん（第一分団班長）
脇 直樹さん（第二分団班長）
原 則勝さん（第二分団班長）
添田 進さん（第三分団班長）
水島浩一さん（第三分団班長）
三田哲也さん（第四分団班長）
※深見幸弘さんには、防災功労者として県消防協会長から功績章が贈られています。

4月の納期

保育料 （4月分）

⇒⇒⇒ 4月30日

～活かします あなたの納める貴重な税～

町の人口（3月1日現在）

総数	30,534人	(+ 25)
男	14,890人	(+ 16)
女	15,635人	(+ 9)
世帯数	11,002世帯	(+ 13)

() 内は前月比。人口統計より

観光フォトコンテスト入賞作品発表！

9回目を迎えた「にのみや観光フォトコンテスト」の入賞作品が決まりました！

審査委員長の江嶋隆さん（日本写真作家協会会員）の講評とあわせてご紹介します。

審査委員長講評

今年は昨年を上回る251点の応募があり、審査を楽しませていただきました。多彩な作品に、なぜか春の情景の作品、特に町を代表する名所、吾妻山に色鮮やかに咲く菜の花の光景を写したものが目立ちました。少し残念だったのは、メインテーマの「神社仏閣に映える花」を題材にした作品が上位3点に入らなかったことです。このテーマにもぜひ再チャレンジしてください。

今回は10回目を迎えます。二宮が変ぼうする中で新しい観光スポットも発見してください。



推せん 『吾妻山、早春花めぐり』
本間浩一さん

推せん

『吾妻山、早春花めぐり』

早春の花めぐりハイイクの一曲を非常に上手にスナップした、明るさが感じられる作品。周囲の樹木は冬の様相ですが、一面の黄色い菜の花を背景に、記念撮影におさまっているハイカーそれぞれの表情が明るく大変に楽しそうです。ここだけに早い春がひょっこりと顔をのぞかせているよう。構図も大変よいです。

特選

『イベントを楽しむ』

白ギス投げ釣り大会で、小学生たちがはしを使って釣れ

特選

『イベントを楽しむ』
寺山記臣さん



特選

『にぎわい夜桜太鼓』

夜桜と祭太鼓、人手の光景をハイアングルから撮影したのが成功しています。暗闇に浮かび上がった桜が効果的で、たった一本でも見事な光景を見せています。できればもう少し、下の太鼓と人手の部分に画面にあるといいですね。

特選

『にぎわい夜桜太鼓』
西山親司さん



第9回にのみや観光フォトコンテスト入賞者(準特選以上)

賞区分	入賞者（敬称略）		題名
推せん	本間浩一	小田原市	吾妻山、早春花めぐり
特選	寺山記臣	藤沢市	イベントを楽しむ
	西山親司	下町	にぎわい夜桜太鼓
	田中博美	平塚市	調子に合わせて
	松原勝幸	元町北	1000年の伝統にのっとった儀式
	添田英治	富士見が丘1	大応寺のしだれ桜
準特選	多田勝顕	大磯町	福豆まき
	小崎敬司	釜野	夏の夜の華
	善波喜代治	茶屋	みそぎ
	山田義忠	伊勢原市	パレードオープニングの響き
	内海恵子	中里	シラス干し